

町田市議会議員・情報公開

吉田つとむ

交通文化都市・若者育成の街

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

研修レポート⑤秋山真聖

田市議会の総務常任委員会を傍聴させていただきました。国会でさえ、テレビでちらっと見るくらいで、いつも同じ人が出てのかな程度での認識でした。市議会の方が身近な議題を取り上げているはずなのに、全くわからない議題の連続、不勉強を恥じる次第でした。3月議会は、来年度予算や主要な条例を審査する大事な定例会となっているそうです。市長が提出した議案を、本会議で質疑応答があり、話し合いをして、その後委員会で審議・報告を経て採決へと進みます。

今回お邪魔した総務常任委員会でも、市が支払う地代などを報告し承認する、非常勤職員の報酬についての承認をする、など幅広く様々な事柄について話し合いが進められていました。議題一覧を見ると、細かい文字でずらりと並んでいて、毎回たくさんの事について話しあわれているという事がわかります。市が行う仕事は市議会の採決を経て実施されます。市民から預かった大事な税金を使う事業なので、きちんとチェックをして行われなくてはなりません。市議会の仕事は責任ある重要な任務である事を再認識しました。



玉川大学3年生 秋山 真聖(第43期生)

研修レポート⑥秋山真聖

東京書籍株式会社にお邪魔しました。東京書籍は1909年設立の、最大手の教科書会社です。長年の実績を礎にして、近年ではデジタル教科書の分野でも先駆的な取り組みをしています。



玉川大学3年生 秋山真聖(第43期生)

ICTは紙媒体での教育の補完に役立つ物です。実際の教材を見て「図版を拡大しただけ」のような単純なものではないと実感しました。例えば、地図を重ねてみる、図形を切ったり移動したりする、国語の教材をドラマ仕立てにして理解を深めるなど、単なる映像化だけではない子どもの興味を引きつけるコンテンツが満載でした。教師の立場では、授業の準備、生徒の評価に活用するなどが可能となります。デジタル教科書の優位性は、特別支援教育で顕著であると思います。個々の障害にきめ細やかに対応した教材を作る事が可能になりました。文字の読み上げ、文字や図表の拡大、配色の変更、VOCAの活用、病弱教育における紙媒体との代替、普通学級との授業の共有などが容易に出来るようになります。生徒、保護者、ボランティア、教師の負担軽減にめざましい効果が期待されます。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅042-795-7361



予算に反対する他なかった理由

平成31年度予算案に関して、2件の修正案が提出され、1件目はそれに私も署名し、提案議員に提出者名を連ねました。もう一つの方は、議案提出者に提出理由と内容を尋ねる質疑を行いました。上記の2件の内容が全く別の項目に関する修正案(一件は、芹ヶ谷公園内に工芸美術館を建設する基本設計予算であり、もう一つは、陸上競技場の観客席増の工事にかかわるものでした)でした。この採決はそれぞれの修正案ごとに行われ、私はその双方に賛成しましたが、全体の多数意見にはならず、市長が提出した原案が賛成多数で可決しました。

結果、芹ヶ谷公園の工芸美術館建設の基本設計が作成されることになり、陸上競技場の観客席増の設置工事がスタートすることになりました。ちなみに、芹ヶ谷公園の工芸美術館の建設については、市長自身が一度その計画を凍結し、さらに昨年の議会に提出された工芸美術館の予算案を議員の多数決によって、修正削除しています。工芸美術館を、何をしてもつくりとする市長の姿勢に大きな疑問をもちつつ、今でも町田市が収蔵する工芸品には新たな施設を造る価値は無いと思っています。



人気が無い町田市の収蔵品を展覧会で見学

電動キックスクーターに試乗

多摩市を訪れた際、「電動キックスクーター」という新しい乗り物に試乗する機会を得ました。電動立ち乗り二輪車の「セグウェイ」が有名になり、アメリカでは一部に普及していますが、急速に電動二輪車関連の技術革新が進み、この「電動キックスクーター」が主流になりそうだとのことでした。

スタートは片足キックが必要ですが、動き出す後は両足をボード上に前後して乗せ、スムーズに走ることができます。全くの練習無し、20秒ほどの説明でいきなり乗れました。20mほど走行して戻りましたが、ブレーキが利きすぎ、いきなり止まったことが軽い驚きでした。握り手の右側にアクセル、左手にブレーキがありました。操作はスクーター感覚です。意外なほど左右のバランスが良くなっていました。*電動でないキックスクーターは、国内でも若い通勤者が利用するのをたびたび見かけます。



市庁舎駐車場を利用した臨時のテストコース

★政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)



メール送信

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

研修レポート⑥-2 田代杏夏



院内はマスク着用

東海大学3年生 田代杏夏(第43期生)

町田市民病院は診療科21、診療部門9からなる町田市の病院です。医事課長さんに病院内を案内していただきながらお話を伺いました。最初に医事課を見学しました。ここでは患者の退院後の支払いについての計算や文章作成などを行っており、専門的な知識が必要だそうです。栄養管理室では病院食の献立や栄養管理に関する仕事を行っています。毎日スタッフの方が病院食を実際に食べてチェックしているそうです。

緩和ケア病棟では、病気の治癒を目的とするものではなく、がんと共に生きる患者とその家族の痛みや苦しみを和らげる医療を行っています。病室は個室で、患者の家族に治療などについて話す家族説明室が設けられました。小児科は町田市で唯一、予定より早く生まれたり、低体重などの新生児を治療するNICU(新生児特定集中治療室)を備えています。その室内の中で一番遠くの場所からでしたが、保育器の中にいる小さな赤ちゃんとそのお世話をされている看護師さんの姿を見ることができました。普段は関係者以外入ることはできないものなのでとても貴重な経験をさせていただきました。

研修レポート②-2 長井健太

小山田桜台地区から小田急線唐木田駅、多摩南部地域病院の間で実証運行が行われているデマンドバスに乗りしました。平日のみ16.5往復の運行で、朝6時頃から夜9時過ぎまで16.5往復が、朝は30分に1本、日中以降は1時間に1本運行されています。運賃は200~300円ですが、小山田桜台で路線バスと乗り継ぐ場合は100円で乗車できます。乗り継ぎ割引の導入は町田市で初とのことでした。

11時30分に小山田桜台を出発し15分ほどで唐木田駅に到着。時間帯のせいか高齢者の方はほとんど見かけず、学生さんの利用が比較的多い印象でした。最終的には10名の定員に対し自分を含めて7名が乗りましたが、乗り継ぎでの利用者はいませんでした。

乗車前に地元住民の方から伺ったお話では、「朝は満員近く乗っているのを見かける。乗ってみたいとは思っているが、日中1時間に1本ではなかなか利用しづらいのもう少し本数が増えることを期待したい」とのことでした。

運行開始から1年以上が経過していることから、初めての利用で戸惑っているといった様子は見受けられませんでした。片道1回だけの試乗で利用実態を把握することは難しく、より踏み込んだ調査のためには反対方向や違う時間帯の乗車などが必要であると感じました。

首都大学東京3年 長井健太(第43期生)

*掲載写真は別ページに掲載しました。私は撮影のため、このデマンドバスの後方を自分の車で追走しました。

★吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



「保守の会」所属議員
ユニークな人材そろい

研修レポート②-1 長井 健太

町田市の交通事業推進課の方に話を伺いました。交通事業推進課は、市民の移動が円滑に行えるよう、鉄道やバスなどの公共交通機関の整備を行う部署です。町田市では市の直営によるバス事業は行っていませんが、特定地域内を走るコミュニティバスやデマンドバスの整備という形で携わっています。

コミュニティバスは、地域住民で作る協議会と事業者を交えた三者が一体となって運行するもので、既に玉川学園・成瀬・相原の各地区を走っています。実際に住民の声を反映した新たなルートを設定することで利用者が増加している路線などもあり、三者一体の形が活かされているように感じました。

デマンドバスは、バスよりも小型のワゴン車を用いて運行されるもので、コミュニティバスよりも少ない輸送量でも採算性を確保することができます。将来的なバス路線設定を見据えた実証実験として昨年从小山田桜台地区で運行されており、従来のバスが入れない狭い道路を通るほか、小山田桜台における一般路線バスとの乗り継ぎ割引を設定することで、乗り継ぎによる利用者負担の軽減を図るなどの工夫がされています。



町田市の交通マスタープランでは、町田駅と拠点地域を結ぶ幹線バスと、幹線バスに接続してその他の地域を走る支線バスを整備するプランが検討されていますが、幹線と支線の乗り継ぎによる運賃上昇や利便性低下への不満が他都市では出ているという話も伺いました。小山田桜台のデマンドバスで実施されている乗り継ぎ割引などの施策を通じて、利便性の高い公共交通網が形成されることを期待したいと思います。

首都大学東京3年生 長井健太(第43期生)



*市内の各地でコミュニティバス路線の開通を求める声がありますが、見合った需要を継続するのが重要なことです。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇高校生との意見交換会は市内の高校に限らず、市内在住で市外の高校の高校生も対象
Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。